



成長

新入生も入学し、朝の玄関は元気な挨拶が響き、活気に満ちあふれています。

昨年度は、私に何回も挨拶をしていた児童はさりげなくなり、しゃがんで挨拶をしている私の頭を「いい子、いい子」となでていた児童はなでなくなり、前転するくらい深々と頭を下げている児童も適度な礼となり、友達と一緒に教室に行くことを優先するようになってきました。また、恥ずかしがって挨拶がなかなかできなかった高等部の生徒は、少しずつ挨拶をするようになってきました。

自分と家族、自分と担任の先生との社会から、友達が加わり広がりが出てきたことや、社会性が身につけてきたことを見られるのは、とても嬉しいことです。

朝のほんの少しの一場面ですが、児童・生徒にとっての大切な学びの時間と捉えています。私自身は、さりげなくなってきた児童・生徒の行動に一抹のさみしさはありますが、児童・生徒の成長を妨げないよう、手や口を出しすぎないように日々の成長を見守っていきたいと思います。(山賀)

